

教科	工業	科目名	プログラミング技術	単位数	2
学科	情報技術	学年	1 学年	履修区分	必修
使用教科書	プログラミング技術 (実教出版)				
副教材など	情報技術基礎(実教出版)				

1. 科目の目的

アルゴリズムの理解を中心に実践的なプログラミングを学びます。
情報技術検定2級に容易に合格できる内容とします。

2. 授業の内容と進め方

教科書を利用しながらも、一人一台端末を使用したり、パソコン室を利用したりして実践的に学びます。
習うより慣れろの方針で進めます。情報技術検定2級の過去問題も多く取り上げます。

3. 学習する上での留意点

- 1) 日頃より授業でのノートなどはきちんと取り、まとめておくこと。
- 2) 提出物は必ず期限内に提出する。

4. 課題等について

適宜プリント等を課題として利用し、学習の定着を図ります。

5. 成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

評価の観点	評価規準
知識・技術	プログラミングに関する基礎的な知識と技術を身につけ、工業の意義や役割を理解しているか。 実際にプログラムを作成する能力と実践的な態度が身につけているか。
思考・判断・表現	アルゴリズムを考え、簡潔で分かりやすい処理手順を考えるなど創意工夫する能力を身につけているか。
主体的に学習に取り組む態度	プログラミングに関心を持ち、具体的なプログラムに対して創造的で実践的な態度を身につけているか。

6. 評価の方法

定期考査での成績や演習問題の課題の提出状況、授業への取り組みなどを平常点として加えて、総合的に判断します。

- 1) 定期考査は年間5回実施します。
- 2) 授業で行う演習課題のレポート内容・提出状況を評価します。

《指導計画》 科目名 プログラミング技術

1 学年

2 単位

学期	月	学習内容 (単元・考査等)	学習のねらい	評価方法等
一 学 期	4	1章 コンピュータによる問題処理手順 1-1システム開発とプログラムの作成 1-2 文書化 1-3 OSとプログラム言語 1-4 目的プログラムと翻訳プログラム	プログラミングに必要な基礎知識の確認をします。	行動観察 質疑応答
	5	2章 プログラミング技法 2-1 基本的なプログラム ① Cの基本的な知識② 入出力③ 演算子 2-2 プログラミングの制御構造	プログラミングの基本である、三つの基本制御構造を確実に理解します。コンピュータ室で実習をし、より実践的に学びます。	中間考査
	6	① 条件分岐 ② 繰返し		
	7			期末考査
	9	2-3 配列 ① 配列の基本 2-4 関数 ① 関数の概念	Cプログラミングの基本である、配列および関数について、徹底的に、実践的に学びます。	行動観察 質疑応答
	10	② 関数の基本		中間考査
	11			
二 学 期	12			期末考査
	1	情報技術検定2級過去問の練習および演習	情報技術検定2級に合格できるよう過去問を実際に解いて、そして実際に動かして理解を深めます。	行動観察 質疑応答
	2			
三 学 期	3			学年末考査